

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：竹内潔、岡元正史

● 入会。

★ 坂本禎基（よしき）様が、7月に入会されました。

● 学生時代の夏休み。国鉄「28日周遊きっぷ」で、名古屋から紀伊半島を回って、山陽、九州を一周して、船で初めての沖縄へ。早朝に沖縄本島へ着いて、海上から島を背景に見た朝焼けは、ミュージカル映画「南太平洋」のシーンのようだった。

● 那覇から石垣島へ船で渡った。

朝、船に並走して、十数尾のトビウオ（Flying fish）が群れて飛ぶのを初めて見たときは、仰天と感動した。

トビウオは世界に50種ほど、日本近海には30種ほど生息する。飛ぶ理由はマグロ、カジキ、シイラなどの捕獲者から逃げるため。離水の速度は35km/h、滑空速度は50～70km/h。高度は3～5m、距離は100m～300m。大型のトビウオだと、滑空距離は600mにもなる。

驚くのは飛行機のように急ブレーキを掛けたり、空中で方向転換して自在に飛ぶこと。飛翔するトビウオは飛行機にそっくりだ。

①大きな胸びれは主翼。②腹びれは水平尾翼。③尾びれは垂直尾翼。

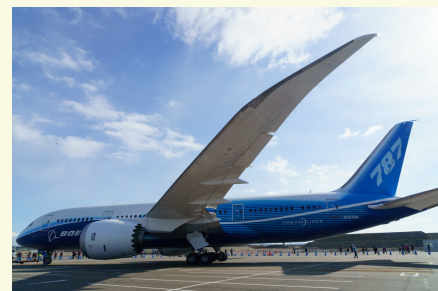
主翼の胸びれは翼端が細く尖った形で、飛行機のウイングレットに似ている。

● Boeing 787（愛称は、Dreamliner）。

在来の飛行機は胴体も翼もアルミ合金（ジュラルミン）で造られている。

787は大型旅客機で初めて胴体と翼が炭素繊維素材（カーボンファイバー）で造られた機体。炭素繊維の利点は、鉄の1/4の軽さ、10倍の強度、金属疲労や腐食しないこと。弱点は。コストが高い、加工が難しい、リサイクルが難しい

こと。飛行機のウイングレットは空気抵抗を減らして燃費を良くし、二酸化炭素の排出をおよそ5%低減した。併せて炭素繊維による機体の軽量化、エンジンの改善などで従来型機と比べて燃費が20%向上している。炭素繊維は、東レが世界シェアの4割、帝人など他の国内メーカーを併せると日本のシェアは7割。ちなみにTOTOの温水洗浄便座を初めて搭載したのも、Boeing 787である。



7月の定例会 参加者は、4日（木）13名、12日（金）16名+体験1名でした。

8月の定例会 夏休みで、定例会はありません。8日（木）に納涼会を開きます。